

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち						
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
I-1-01 I-1-02	大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度(二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質)の公表 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	環境基準達成度 100% 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	◎	環境レポートで公表予定	生活環境課
I-1-03	一般地域における騒音調査及び測定(一般地域騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般地域騒音環境基準について、市内11地点の騒音を調査測定し、状況を公表する。環境基準達成率90%以上。	◎	10月または11月頃実施予定	生活環境課
I-1-04	道路交通騒音調査及び測定(道路騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	環境基準達成率100%	◎	10月または12月頃実施予定	生活環境課
I-1-05	新幹線鉄道騒音調査及び測定(新幹線鉄道騒音環境基準達成度)	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音について調査、測定を実施。	平成23年度より環境基準達成度の向上	◎	10月または13月頃実施予定	生活環境課
I-1-06 I-1-08	地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としないの鉄道の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標 1,200,000人	◎	昨年の、大河ドラマ「真田丸効果」の反動により昨年に比べ輸送人員は減少しているが、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等開催し、利用促進に努めた。 しないの鉄道については、沿線市町で構成するしないの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	管理課
I-1-07	循環バス運行施策	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標55,000人	◎	循環バスは新たな共通回数券の作成。オレンジバスは路線バスとの接続も考慮したダイヤ改正による利便性の向上をした。それに合わせ、オレンジバスのバス停の一部を更新し、視認しやすい時刻表により利便性の向上に努めた。 引き続き、利用啓発活動を進めていく。	管理課
I-1-09	まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。 貸し出し可能自転車:常時15台	利用者数:3,500人	○	9月末現在の利用者数(延べ)2,265人 対前年度比 : 2,265人/3,206人=0.706 対前年度までの平均比 : 2,265人/2,418人=0.937	都市計画課
I-1	レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減を目指す。	ゆきま夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用目標 平成28年度 延べ950台	◎	上半期実績 780台 H28年度同期の実績は1,800台であるが、「真田丸」放映による観光客の増加により比較にならない。 H27年度実績とほぼ同数であり、目標値の78%達成。	真田産業観光課
I-1	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。<事業周知時の呼びかけ>	・住環境啓発 ①②③④⑤	駐車台数の削減	◎	国際交流フェスティバルや信州丸子夏期大学、セレス・ピア/リレーコンサートにおいて、チラシ等に車両乗り合わせでの来場を記載した。	丸子地域教育事務所

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち						
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
I-2-01	公共下水道事業・農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業・農業集落排水事業を推進する	・公共下水道計画区域内の未整備箇所を解消し普及率の向上を目指す	・下水道未整備箇所の解消 7箇所解消	◎	6箇所は既に解消済、2箇所は9月に発注済	下水道課
I-2-02	下水道の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発(随時) ・戸別訪問の実施(通年) ・下水道未接続者に対する啓発文書発送	水洗化率 ・平成28年度末の下水道水洗化(利用率)率を91.0%に向上させる 確認申請件数 ・620件を目標とする。	◎	・戸別訪問を1,653件実施した。 ・新規接続は324件となった。	サービス課
I-2-03	合併処理浄化槽設置整備事業(合併処理浄化槽設置整備事業実施数)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設22基	◎	補助件数:6件 交付申請のあった件に関して対応している。	生活環境課
I-2-04	河川水質調査及び検査(主要河川BOD環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。また、結果を環境レポート等で公表する。	主要河川のBOD環境基準達成度 100%(年間平均)	◎	上半期100%達成	生活環境課
I-2-05	地下水水質調査及び検査(地下水環境基準達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水(井戸水)について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	◎	10月以降実施予定	生活環境課
I-2-06	地下水水質調査及び検査(地下水質低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成度)	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染水の防止	市内12地点の地下水(井戸水)について、年一回低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン)の環境基準値の達成。	◎	10月以降実施予定	生活環境課
I-2	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	9月までに3基の申請がありました。	丸子市民サービス課
I-2	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の電話・戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 65 戸 ・水洗化率 92.0 %	◎	新規接続戸数9月現在42戸。	丸子・武石上下水道課

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち						
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
I-3-01	ダイオキシン類の環境汚染調査(ダイオキシン類環境基準達成率)	有害化学物質による汚染を未然に防止する	有害化学物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気5カ所、河川2カ所、土壌3カ所等について調査。	環境基準値達成。	◎	10月以降実施予定	生活環境課
I-3-02	鉛給水管布設替え	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替計画修繕対応 11件 故障修繕対応 0件 計 11件	鉛給水管布設替箇所数 11件	○	鉛給水管残存11箇所は、本管布設替工事に併せて施工予定。布設替工事は10月中旬に業者決定予定。今年度で鉛給水管の計画的修繕は終了する。	水道課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
II-1-01	造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	○森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	○県森林税等利用した(切捨)間伐300haの実施	○	○間伐、下刈り63ha 実施	森林整備課
II-1-02	樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	○アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を図る。	○被害木 7haの樹種転換の実施	◎	○更新伐 5.6ha 実施	森林整備課
II-1-03	松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	○松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施	○被害木2,740㎡の伐倒薬剤処理	◎	○伐倒薬剤処理 2,058㎡ 実施	森林整備課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
II-2-01	農業用水路の多自然型水路整備箇所	水辺環境を守り・親しむ	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る	○		土地改良課
II-2-02	多自然河川整備状況	水辺環境を守り・親しむ	ホテル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホテル水路に係る啓発活動	◎	平成29年 7/14~8/3、市役所一階ロビーにおいて、ほたるポスターを展示。	土地改良課
II-2-02	多自然型河川整備	自然の保全・活用	水環境の保全	・現在のところ、具体的な整備予定箇所はないが、地域等の要請があれば、予算化により実施する。	・河川事業の工法検討時に、地元要望や自然環境に特に配慮する必要があると判断される場合には、多自然型工法により河川整備を行う。	△	現在、対象河川がないため整備事業に着手していない。自治会・地域等の要請があれば、今後実施する。	土木課
II-2-03	河川愛護活動(河川愛護団体数)	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川愛護活動を実施した団体数 52団体	◎	実績報告の締め切りを10月末日としているため、各愛護会からの報告を待っている段階である。	生活環境課
II-2-04	水生生物調査及び支援	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	13カ所を実施。	◎	13カ所実施済み	生活環境課
II-2	水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うさだ環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・水道週間にあわせて6月4日に染浄水場の一般開放を行った。また、7月8日に丸子地域の水道施設を巡るバスハイクを行った。これらを通じて水環境の大切さを説明した。 ・環境負荷低減の取組を紹介する10月21日開催の「環境フェア」への出展準備を行った。	経営管理課
II-2	多自然型水路整備	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1箇所整備する。	実績数値による。	◎	・工法等関係自治会調整中 ・水路工	丸子建設課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		農環境を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
II-3-01	認定農業者(担い手)の確保	農環境を守り・親しむ	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 28年度目標 合計235経営体	◎	5月、8月に審査会を開催し、更新17経営体、新規4経営体の合計21経営体を認定した。	農政課
II-3-02	荒廃農地の再活用	農環境を守り・親しむ	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 29年度目標 2.0ha	△	10月時点でおよそ0.1haの農地の再生が実施された。	農政課
II-3-03	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農環境を守り・親しむ	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 29年度目標 80ha	◎	円滑化事業による権利設定は、おおむね順調である。また、農地中間管理事業については、引き続き事業周知を行い、12月の権利設定に向けて取り組みを行っている。	農政課
II-3-04	農業法人(担い手)の確保	農環境を守り・親しむ	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件	○	東塩田営農組合、中塩田営農組合において研究中	農政課
II-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 28年度末 16.1ha →29年度目標 13ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。	真田産業観光課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目		循環型社会の形成に努める						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
Ⅲ-1-01 Ⅲ-1-02 Ⅲ-1-03	生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器購入費補助事業 3 乾燥生ごみと野菜等との交換事業 「やさいまる」事業	1 乾燥生ごみによる堆肥化の実証実験の実施 「やさいまる」事業…ポイント交換数200回 2 ごみ減量化機器利用者の増加補助台数400台 3 1人当たりのごみ排出量の減少	◎	1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化堆肥実績3.6t(昨年同期比0.1t増) 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うだ等で補助制度を周知 ・補助実績(容器、処理機) 200台 ※ 実績数値は9月末現在 3 1人当たりの1日のごみの排出量(可燃) ・実績609g 4 やさいまる事業 ・乾燥生ごみを回収しポイント付与 ・回収量(乾燥重量)946kg	廃棄物対策課
Ⅲ-1-04 V-2-03	市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコ・ハウスの運営 2 ごみ減量化アドバイザーの活動	1 エコ・ハウスの運営 2 新たなごみ減量化アドバイザーの委嘱 研修及び実地等による人材育成	◎	1 エコハウスの運営 ・各種講座の開催、情報発信(随時) ・「古着回収」(毎月1回) 回収実績 19.0t(9月末現在) 2 ごみ減量化アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・ごみ減量化機器使用状況調査を実施	廃棄物対策課
Ⅲ-1	丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催(委託) 11月 開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度80%以上	◎	6/30 打合せ会議、8/9、9/13 2回の実行委員会を開催。部会構成も決定し、開催日に向け現在準備中。	丸子市民サービス課
Ⅲ-1	ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 129件 (前年度比5%増)	◎	補助金交付件数 36件	丸子市民サービス課
Ⅲ-1	給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成・農産物を親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地産地消の推進、②給食残渣の再利用	②地産地消の推進 ③給食残渣の再利用	②地産地消の推進 地元産食材使用割合 45% ③給食残渣の再利用 継続実施	○	②上半期地元産利用割合58.3% ③地元産業者へ飼料として提供してきている。	丸子学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
Ⅲ-2-01	上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの総排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0%削減。	○	16333t-CO2 冬季の気温が低く暖房器具を使用する機会が増加したため。	生活環境課
Ⅲ-2-02	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進める。	◎	屋根貸付事業(第三・第四中学校)事業者決定	生活環境課
Ⅲ-2-04	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1)太陽光発電システム設置費補助300件 (2)太陽熱高度利用システム設置費補助 10件	◎	(1)189件 (2)1件	生活環境課
Ⅲ-2-07	環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進する	・広報等へ募集掲載 ・環境家計簿の配布・回収・評価	うだエコ隊参加(環境家計簿回収) 家庭数 5世帯	◎	回収数0件	生活環境課
Ⅲ-2-08	うだ環境フェア(消費生活展)の開催	地球温暖化防止活動を推進する	市民の環境配慮行動の推進	うだ環境フェアの開催 10月15日(土)	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度90%以上	◎	10/21(土)開催予定	生活環境課
Ⅲ-2-09 V-1-01	国際規格審査登録助成事業	地球温暖化防止活動を推進する	ISO14000S等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000S等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(5件)	◎	事業所訪問による周知(3件)	商工課
Ⅲ-2-10	LED防犯灯設置費補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助	新設 97基、更新94基	◎	新設65基、更新71基	生活環境課
Ⅲ-2	集中管理者のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成28年度実績の3.0%減(ガソリン4,075L、軽油6,533L)	◎	・H29年度上半期 車両燃料使用量削減状況(4月～9月) ガソリン 1817.45リットル(H28年度同時期比 2205.39リットル、△387.94リットル、△17.6%) 軽油 2624.41リットル(H28年度同時期比 4001.34リットル、△1376.93リットル、△34.4%)	丸子地域振興課
Ⅲ-2	消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の2.0%減(319.261kwh)	○	・エレベーターの休日停止(H22から継続中) ・エレベーターの平日夜間(夜18時から翌朝7時まで)停止(H23から継続中) ・H29上半期電気使用量 146,806kw(H28同時期比 146,988kw、△182kw、△0.1%)	丸子地域振興課
Ⅲ-2	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減(28.248kg)	◎	・H29年度上半期 12,860kg (H28年度同時期比 15,680kg、△2,820kg、△18.0%)	丸子地域振興課
Ⅲ-2	グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を72%以上とする	△	H29年度上半期 65.0% (H28年度上半期 80.2% -15.2%)	丸子地域振興課

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
Ⅲ-2	新エネルギー活用施設(太陽光発電・太陽熱利用施設)施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数の維持(平成28年度水準を維持)	◎	上半期申請件数31件(太陽光30件、太陽熱1件) ※年間目標 30件	丸子市民サービス課
Ⅲ-2	市民サービス課所有車の燃料使用の抑制	市民サービス課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民サービス課 廃棄物担当が所有(使用)する庁用車のガソリン、軽油使用量の削減	・ガソリン(所有車両2台分)の使用量削減…過去2カ年の平均値964ℓを目標値とする。 ・軽油車(2台分)使用を、昨年度から1%削減 目標値2,404ℓ	◎	黄バト、軽バンについては、使用回数が減少しているため、前年度同月比▲31%減少している。 トラックについては、上半期6%増で推移している。	丸子市民サービス課
Ⅲ-2	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する。	ISO14001など環境マネジメントシステムに関する情報を地域企業に提供し環境に関する意識の向上を図る。	地域企業への啓発活動 市と民間企業の情報交換による環境への意識の相乗効果を目指す。	80社以上の訪問と啓発活動	◎	企業訪問の際、経営状況とともに環境への取り組みの聞き取りなど意見交換を実施した。訪問数60社	丸子産業観光課
Ⅲ-2	移動図書館車の運行	地域資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行(丸子・武石地域、年間約150日運行)	貸出冊数 21,000 冊	◎	4月～9月まで移動図書館の運行(丸子・武石地域)貸出冊数12,005冊	丸子図書館
Ⅲ-2	エコオフィスうさだ	環境にやさしい製品等の購入の推進	グリーン購入の推進	物品等の購入についてエコマーク、グリーンマーク、省エネマークなどの環境ラベルリング商品を優先的に購入する。	購入物品の60%以上をグリーン購入とする。	◎	・物品の購入自体少なめ	武石市民サービス課
Ⅲ-2	省エネに努めるエコ事業所	職員、指導員及び通所利用者の環境負荷の軽減に向けた意識の変革	施設内の環境整備に努め、節電、節水、燃料の削減に努める。	ガソリン トータル4,000ℓ 月平均340ℓ 軽油 トータル2,000ℓ 月平均170ℓ 石油 トータル4,000ℓ 月平均333ℓ 電気 トータル18,000Kw 月平均1,500Kw 水道 トータル 420m3 月平均35m3	ガソリン トータル1,867ℓ 月平均311ℓ 軽油 トータル 971ℓ 月平均162ℓ 石油 トータル 0ℓ 月平均 0ℓ 電気 トータル 7,143Kw 月平均1,190Kw 水道 トータル 211m3 月平均 35m3	◎		社会就労センター武石事業所
Ⅲ-2	エコオフィスうさだ	環境にやさしい製品等の購入の推進	グリーン購入の推進	物品等の購入についてエコマーク、グリーンマーク、省エネマークなどの環境ラベルリング商品を優先的に購入する。	購入物品の50%以上をグリーン購入とする。	◎	集団から個別接種への変更により予防接種等薬品管理が不要となったため著しい改善が見られた。引き続き、事務用品等はグリーン購入推進していく。	武石健康センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目		地域資源を有効利用する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
Ⅲ-3-01	雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設設置費補助	32件	◎	16件	生活環境課
Ⅲ-3	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 5件	○	上半期の申請件数2件 ※ 年間目標 5件	丸子市民サービス課
Ⅲ-3	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70%台を維持する	◎	漏水調査委託を実施中。長瀬・塩川・武石獅子ヶ城を行い現在3箇所発見し修理済み。	丸子・武石上下水道課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		歴史・文化を未来に引き継ぐ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
Ⅳ-1-01	文化財の保存整備	歴史・文化を将来に引き継ぐ	史跡・歴史・文化的遺産の調査と保護	指定文化財の保存・整備に努めるとともに、指定文化財の増加に努める。	文化財の指定及び登録有形文化財の登録を2件以上	△	指定候補条件がなかったため、審議会は開催していないが、11月に歴史文化基本構想策定事業の経過報告等のために開催する予定である。	生涯学習・文化財課
Ⅳ-1-02	文化芸術振興事業	歴史・文化を将来に引き継ぐ	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	・文言の記載は、デザイン等の制約もあり実施できなかったものもあるが、配布先等の精査を行い、節約に努めた	交流文化スポーツ課
Ⅳ-1-03	指定文化財デジタルアーカイブ化	歴史・文化を将来に引き継ぐ	史跡・歴史・文化的遺産の調査と保護による市民の環境に対する意識の啓発	指定文化財に関するデジタルアーカイブ化の推進	上田市文化財マップへのデータ追加	◎	新たに指定した文化財がなく、上田市文化財マップへのデータ追加等は実施しなかった。	生涯学習・文化財課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
IV-2-02	街路樹植樹事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹の植樹延長を増やし、まさに潤いとやすらぎをもたらす	市道橋下泉平線整備に伴う街路樹植樹	市道橋下泉平線植栽工事の発注及び施工 街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討	◎	・橋下泉平線に隣接した緑地の整備工事を平成28年度繰越工事として実施し、6月に完了しました。遊歩道及びベンチの整備に併せ高低木植栽し、市街地の緑化を図りました。 ・来年度(平成30年度)実施計画において、新規路線の立上げを計画していますが、事務査定において「項目上」となり、今年度の目標達成は厳しい状況となりました。	都市計画課
IV-2-03	景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図る	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数10件	・補助金を出す生垣の延長 100m (平成28年度延長約75m)	○	今期目標16件、実績3件、進捗率18.8%	都市計画課
IV-2-04	花と緑のまちづくり推進事業の実施(1)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 ・種から育てる花づくり講習会	・花の種銀行会員数(延べ口座開設者930人) ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	前期、花づくり講習会を2回開催した。	都市計画課
IV-2-05	花と緑のまちづくり推進事業の実施(2)	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の苗を配布し、市内に花と緑の面積を増やしていく。	・地域自治会、小中学校等に配布する花苗本数(130,000本)	◎	前期82,000本余りの苗を配布し、自治会、学校等の緑化を推進した。	都市計画課
IV-2-06	緑地の保全(築屋台グリーンベルト保全事業)	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している築屋台グリーンベルトを環境保全(地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和)の面から積極的に保全を必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	予定通り5月から9月までに5回のボランティア作業を実施した。	都市計画課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
IV-2	公園施設長寿命化対策支援事業	ライフサイクルコストの削減	都市公園のストックマネジメント	公園施設改築・更新 N=1公園	対象公園数 39公園	○	上田城跡公園の四阿改築工事の設計を完了し、発注の手続きを行った。 長池公園の遊具の選定について、アンケート調査を実施し、決定した。	都市計画課
IV-2	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1住民参加のための施策検討①②⑤⑧ 2住民参加による緑化③④⑥⑦⑨⑫ 3住民環境啓発⑩⑪⑬	②新規団体受付、植栽場所検討 ③住民による花苗植栽 3,000人 ④コンクールへの参加 ⑦球根植栽団体 ⑩講習会への参加	◎	4月①②参加団体に配布する花苗の調整、受付 丸子地域花いっぱい運動参加者:72団体・会員2,824名 6月③参加者団体に花苗の配布:9種類17色・植栽55,800本 (団体数は、昨年同様72団体・会員2,822名) 7月④⑤実績報告書の提出、各花壇の写真撮影 ⑥コンクールへの参加応募:14団体 団体の部(50m未満)7団体・(50m以上)6団体 個人の部 0名・学校の部 1団体 ⑦秋植えの球根(チューリップ)配布:9,480本	丸子建設課
IV-2	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 150人	◎	4月①丸子ベルパーク花壇の花苗配置と本数確認(総企画費 4/19) 5月②丸子ベルパーク花壇の掘上作業のボランティア(参加人数15名) ③丸子ベルパークの花壇 1,332本(参加人数16名) ペチュニア(216本)・サルビア(青)216本・百日草(144本) 「リ・ゴールド」(324本)・百日草(432本) 7月まるごと花と緑の会視察研修(参加人数18名) ・白馬五竜高山植物園、白馬岩岳山麓ゆり園、池田町ハーブ園 ・姫川源流自然探勝園、安曇野ひろ公園花壇 6月~9月 ③丸子ベルパーク花壇の管理(水くれ・草取り等)	丸子建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
IV-3-01	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図る	自主的なルールづくりに向けた機運の高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言をする。	認定数(1)	△	景観づくり協定締結の機運が高まっている地区が出てこない。	都市計画課
IV-3-03	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチング参加者 計40人	◎	前期は西塩田で5月27日に実施。13名が参加。	都市計画課
IV-3-04	無電柱化事業	調和のとれた美しい景観を保つ	道路の無電柱化を推進し、周辺環境との調和を図る	市道新参町線の無電柱化工法の検討 黒街路事業2路線の電線類地中化工事への支援	無電柱化に向けた電線管理者及び地元関係者との協議 黒街路事業への負担金による支援の継続及び2路線(全体延長L=1,297m)の完成	◎	・新参町線の無電柱化に向けた電線管理者との協議を6月に行いました。 ・現況測量及び電線共同溝予備設計を8月に発注し、概略計画の作成を進めています。 ・黒街路事業への負担金は、年次計画に基づき、当初予定額を5月及び6月に支出し、支援を継続しています。	都市計画課
IV-3-05	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数(各1)	◎	上半期、アダプトシステム協定締結見込1件、また、締結が可能と思われる地区1件	都市計画課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
IV-3-06	ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動の推進	ごみゼロ運動の実施(県下一斉で年一回)	参加人数 10,000人	◎	参加人数10,111人 今年は県のディスプレイキャンペーンと共同で啓発活動を行いました。	生活環境課
IV-3	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 前年度比3%削減 (4,830kg)	◎	①パトロール回数 72回(年間目標 144回)	丸子市民サービス課
IV-3	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼(随時)	苦情件数 10件以下	◎	9月までに苦情件数2件(犬の糞)がありました。	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち						
環境保全項目		環境にやさしい人をはぐくむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
III-2-09 V-1-01	国際規格審査登録助成事業	地球温暖化防止活動を推進する。環境にやさしい人をはぐくむ	ISO14000S等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000S等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(5件)	◎	事業所訪問による周知(3件)	商工課
V-1-04	学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・児童による田植えは、協力者、地方事務所等の指導による手植え。 ・夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・収穫は手刈りでを行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・上田地域小学校(16校)の5年生 1,136人 ・平成27年度の耕作面積 m ² (保全農地面積)	◎		学校教育課
V-1	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 6団体	◎	・平成29年度第1回募集において5団体の新規申請、採択。 ・平成29年度第2回募集において1団体の新規申請、採択。	丸子地域振興課
V-1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	◎	上半期3回発行した全ての自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載した。	丸子地域振興課
V-1	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・リサイクル図書の入替えを行わない本の活用を図る。	◎		丸子図書館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち						
環境保全項目		環境にやさしい地域をはぐくむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	上半期の状況	担当課
V-2-01	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	環境にやさしい地域をはぐくむ	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進する。	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	駅前清掃の支援3回	◎	9月末時点で2回実施。10月に3回目を実施予定。	生活環境課
V-2	環境に関する隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ	住民の環境に対する意識の高揚を図る。	①隣保館事業参加者に省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。 ②隣保館事業「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。市主催コンクールに応募する。 ③エコ料理教室を開催する。	①隣保館事業の開催数 93回 ②参加者数 22人 ③教室参加者数 13人	◎	①隣保館事業の開催数 32回(ゴミの持ち帰りの推進) ②隣保館事業「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えを実施 参加者数 17名参加 ③エコ教室参加者数 16名参加	丸子市民サービス課